



日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 13 ページある。ただし、白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。
所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答欄は裏面にもある。
5. 問題が指示する数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題冊子は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、問 1 ～ 問 14 の設問に答えなさい。

徳川家康は外交に積極的であった。家康は、1600年に豊後に漂着したリーフ^(ア)デ号の航海士や水先案内人を江戸に招き、外交・貿易の顧問とした。家康はまた明との国交回復を試みたほか、スペインとの貿易にも積極的であった。一方、生糸で巨利を得ていたポルトガル商人らに対しては、糸割符制度を設け、利益独占の排除を試みた。^(イ)朝鮮との関係については、1609年に宗氏は朝鮮との間で^(ウ)(エ)約条を結び、宗氏に朝鮮外交上の特権的な地位が認められた。アイヌとの関係については、1604年に松前藩にアイヌとの交易独占権が認められることとなった。^(オ)

しかしながら、幕藩体制が固まるにつれて海外渡航や貿易に制限が加えられるようになっていく。1633年には(カ)以外の日本船の海外渡航が禁止となり、その2年後には日本人の海外渡航および帰国が全面禁止となった。こうして江戸時代の外交は鎖国へと進んでいくこととなった。鎖国という言葉は、オランダ商館の医師だった^(キ)(ク)の著書『日本誌』の一部をオランダ通詞(ケ)が『鎖国論』として訳したことで用いられるようになったと言われている。

約200年にも及ぶ鎖国は、西列強のアジア進出によって切り崩されていくようになる。19世紀前半に様々な西洋諸国から開国要求を受けたものの、幕府はこれを拒み続けていた。^(コ)しかしながら、1854年、前年に引き続きアメリカのペリーの来航を受け、ついに幕府は日米和親条約を締結するに至った。その後1856年には、ハリスが初代アメリカ総領事に着任し、通商条約の締結を強く求めた。ハリスとの交渉にあたった老中(シ)は、天皇の勅許を求めたが、勅許を得ることはできなかった。結局、1858年には、天皇の勅許は得られないまま、日米修好通商条約が調印された。幕府はその後、アメリカ以外の4か国とも同様の条約を締結した。^(ク)これは安政の五カ国条約と呼ばれる。翌年からいくつかの港で貿易が開始された。幕府は五品江戸廻送令で貿易の統制を試みたが、列国の反対などによりあまり効果は上がらなかった。^(セ)

問 1 下線部(ア)の外国船の国名として正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A イギリス B オランダ C スペイン D ポルトガル

問 2 下線部(イ)に関連して、以下の説明文の中で、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 白河藩主伊達政宗は使節団をスペインに派遣した。
B 三浦按針がスペインとの通商を求めてサン＝フェリペ号で派遣された。
C 家康はドン＝ロドリゴに船を与え、ノヴィスパン(メキシコ)に送った。
D 支倉常長がスペインとの通商貿易の開拓に成功した。

問 3 下線部(ウ)に関する説明文の中で、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 糸割符仲間は、当初は江戸・京都・摂津の三ヵ所商人だけであった。
B 糸割符仲間は、当初は江戸・京都・大坂の三ヵ所商人だけであった。
C 糸割符仲間は、三ヵ所商人に長崎、堺が加わり、五ヵ所商人となった。
D 糸割符仲間は、輸入生糸の価格を決定していた。

問 4 空欄(エ)にあてはまる約条の名称をマークシート裏面の該当する解答欄に、漢字で楷書で正しく記入しなさい。

問 5 下線部(オ)に関する説明文の中で、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 松前氏と家臣団との主従関係は商場知行制とよばれた。
B 1599年、鍋島氏は松前氏と改姓した。
C シャクシャインの戦いの翌年に蝦夷地は松前奉行の支配下に置かれた。
D 松前藩の本拠は箱館であった。

問 6 空欄(カ)にあてはまる海外渡航船の名称として正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 勘合船 B 朱印船 C 南蛮船 D 奉書船

問 7 下線部(キ)に関する動向の説明文の中で、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 1612年、高山右近らを海外に追放した。
B 1616年、オランダ船を除く外国船の寄港地を平戸と長崎に制限した。
C 1624年、スペイン船の来航を禁じた。
D 1631年、島原の乱がおこった。

問 8 空欄(ク)にあてはまる人名として正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A ケンペル B クルムス C シドッチ D ツンベルグ

問 9 空欄(ケ)にあてはまる人名として正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 伊東玄朴 B 工藤平助 C 志筑忠雄 D 野呂元丈

問10 下線部(ク)の時期に生じた出来事に関する説明文の中で、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 1840年、イギリス船が琉球に来航する。
B 1841年、アメリカからビッドルが浦賀に来航する。
C 1842年、幕府より異国船打払令が出される。
D 1844年、オランダ国王の開国勅告を受ける。

問11 下線部(甲)の条約で開港を認めることとなった港はどこどこか、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 箱館・神奈川 B 神奈川・兵庫
C 兵庫・下田 D 下田・箱館

問12 空欄(シ)にあてはまる人物の名称をマークシート裏面の該当する解答欄に、漢字で楷書で正しく記入しなさい。

問13 下線部(ス)に含まれない国を1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A イギリス B オランダ C スペイン D フランス

問14 下線部(セ)の五品に含まれない品目を1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 生糸 B 茶 C 水油 D 蠟

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、問1～問14の設問に答えなさい。

1931年の柳条湖事件にはじまる満州での日本の軍事行動は、中国の排日運動^(ア)を激化させていった。日本の軍事行動はアメリカを中心^(イ)に各国の反発を招き、国際連盟は現地及び関係国へ調査団を派遣した。塘沽停戦協定が結ばれたものの、盧溝橋事件により日中間の戦争は本格化していった。欧州で第二次世界大戦が勃発すると、日本はドイツとの関係を更に深め、アメリカと関係がいつそう悪化し、日本は太平洋戦争へと突入していった。この時期、日本経済は軍需と保護政策^(ウ)に支えられ、重化学工業が発達し、新興財閥と呼ばれる企業集団が台頭した。^(エ)

第二次世界大戦が終結した後、日本は連合国の占領下におかれ、戦前の体制が改革された。サンフランシスコ平和条約の調印により、日本は独立国としての主権を回復したが、日米安全保障条約および日米行政協定にもとづき米軍基地が残存することになった。^(オ)日本は徐々に周辺国との外交関係を回復し、自由主義経済体制のもと、長期にわたって高い経済成長率を実現する高度成長期をむかえるが、国内では都市化が進むことで様々な問題が発生するようになった。^(カ)その後、アメリカの新経済政策の推進などによって、日本の政治経済と外交は大きな影響を受け、新しい政治経済体制への模索^(ク)を続けていった。^(コ)

問1 下線部(ア)に関連して、満州事変にともない1931年12月に総辞職した内閣はどれか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 第1次若槻礼次郎内閣 B 第2次若槻礼次郎内閣
C 田中義一内閣 D 犬養毅内閣

問2 下線部(イ)に関連して、第一次上海事変がおきたのはいつか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 1932年 B 1933年 C 1934年 D 1935年

問 3 下線部(ウ)に関連して、1937年に設立され、物資動員計画を作成する政府機関の名称をマークシート裏面の該当する解答欄に、漢字で楷書で正しく記入しなさい。

問 4 1919年に、渋沢栄一らによって設立された半官半民の労使協調機関で、のちに産業報国運動を提唱した団体の名称をマークシート裏面の該当する解答欄に、漢字で楷書で正しく記入しなさい。

問 5 下線部(エ)に関連して、新興財閥の一つで、日産コンツェルンを結成した経営者は誰か。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

A 鮎川義介 B 小平浪平 C 浅野総一郎 D 大倉喜八郎

問 6 下線部(オ)に関連して、日米行政協定が締結されたのは何年か。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

A 1951年 B 1952年 C 1953年 D 1954年

問 7 下線部(カ)に関連して、2013年現在も米軍基地として残存しているのはどれか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

A 三沢基地 B 静浜基地 C 小月基地 D 美保基地

問 8 下線部(キ)に関連して、日ソ共同宣言に調印した首相はだれか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

A 鳩山一郎 B 吉田茂 C 岸信介 D 片山哲

問 9 下線部(ク)に関連して、日本がOECDに加盟したのはいつか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

A 1961年 B 1962年 C 1963年 D 1964年

問10 下線部(キ)に関連して、1955年頃から1957年までの好景気の時期は何と呼ばれているか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A いざなぎ景気 B 神武景気
C 岩戸景気 D オリンピック景気

問11 下線部(ク)に関連して、公害対策基本法が制定されたのはいつか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 1967年 B 1969年 C 1971年 D 1973年

問12 下線部(ケ)に関連して、10ヶ国蔵相会議の結果、円が1ドル=308円に切り上げられたのはいつか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 1970年 B 1971年 C 1972年 D 1973年

問13 下線部(カ)に関連して、日中平和友好条約を締結した内閣は次のうちどれか。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 第1次田中角栄内閣 B 第2次田中角栄内閣
C 三木武夫内閣 D 福田赳夫内閣

問14 下線部(キ)に関連して、日本電信電話公社を民営化したのはどの内閣か。正しいものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 中曽根康弘内閣 B 竹下登内閣
C 海部俊樹内閣 D 宮沢喜一内閣

〔Ⅲ〕 次の文章A～Cを読み、問1～問14の設問に答えなさい。

文章A

「日本書紀」が伝えるところによれば、646(大化2)年正月には、改新の詔が発せられ、戸籍・計帳をつくって班田収授法を定め、公地公民制への移行をめざす政策が示された。藤原京の発掘で出土した多数の木簡などから、690年に完成した をもとに、^(ア)班田収授法や、租・庸・調・雑徭などの税制が実施されていたと考えられている。

平城京は、律令体制によって全国から集められた富力で繁栄したが、財政を支える農民の生活は、「貧窮問答歌」にうたわれたように厳しいものであった。政府は人口増加による口分田の増加を補い税の増収を図るため、土地の私有を認める一連の政策を実施し、^(イ)耕地の拡大を図った。しかし、貴族、寺院、地方豪族たちの私有地拡大を招く結果となり、律令体制は次第に崩れていった。^(ウ)

問1 空欄①に当てはまる語句として適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 延喜式 B 庚寅年籍 C 庚午年籍 D 壬申戸籍

問2 下線部(ア)に関連して、以下の文章中の空欄①と②に当てはまる数量の組み合わせを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

班田収授法の下では、口分田の班給は6年ごとに行われ、 歳以上の男女に口分田が与えられた。口分田は良民の男子への2反(段)を基準にして、女子にはその が与えられた。

- A ①-6, ②-2分の1 B ①-6, ②-3分の2
C ①-17, ②-2分の1 D ①-17, ②-3分の2

問 3 下線部(ア)に関連して、以下のA～Dの文のうち、適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 租は、正丁の場合口分田1反あたり稲2束2把であり、次丁はこの2分の1であった。
- B 庸は、都での労役に代えて、正丁の場合布2丈6尺を収めるもので、中男はこの4分の1であった。
- C 調は、絹・糸・布などの特産品を中央政府に収めるもので、運脚によって都まで運ばれた。
- D 雑徭は、郡司の命令によって、正丁の場合年間30日を限度に奉仕する労役であり、のちに倍増された。

問 4 下線部(イ)に関連して、以下の資料1中の空欄①に当てはまる語句を、マークシート裏面の該当する解答欄に、漢字4文字で楷書で正しく記入しなさい。

乙丑、詔して曰く、「聞くな
らく、墾田は養老七年の格に依
りて、限満つる後、例に依りて
收授す。是に由りて農夫怠倦し
て、開ける地復た荒る、と。今
より以後、任に私財と為し、
① を論ずること無く、
咸悉くに永年取る莫れ。

〔続日本紀〕、原漢文

資料1

問 5 資料1の法令を発した天皇として適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 元正天皇 B 孝謙天皇 C 聖武天皇 D 文武天皇

問 6 下線部(ウ)に関連して、以下のA～Dの文のうち、適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 桓武天皇は、公出挙の利息を3割から5割に増やし、税の増収をはかった。
- B 戸籍には、口分田の班給をより多く受けることをもくろんで男子の登録を多くする偽籍が増え、実態を反映しなくなった。
- C 称徳天皇の在位期間中に寺社等をのぞいて開墾は一時禁止されたが、772(宝亀3)年には、ふたたび開墾と墾田の永年私有が認められた。
- D 政府は、国家財政を維持するため、大宰府に元慶官田を設けて直営し、財源の確保に努めた。

文章B

鎌倉時代後期以降、近畿地方やその周辺部では、荘園や郷の内部に惣や惣村と呼ばれる自立的な村が自然発生的に生まれた。名主層に加え、新しく成長してきた小農民も惣村の構成員となり、村の神社の祭礼や農業の共同作業、戦乱に対する自衛などを通して、次第に村民の結合を強くしていった。室町期にかけては、農業において土地の生産性を向上させる集約化・多角化が進められ、手工業の原料となる工芸作物の栽培も盛んになった。また農村加工業の発達により、その製品が商品として流通するようになって、農村にも貨幣経済が浸透していった。

問 7 下線部(ア)に関連して、村の神社の祭礼を行う氏子組織の呼称として適切な語句を、マークシート裏面の該当する解答欄に、漢字2文字で楷書で正しく記入しなさい。

問 8 下線部(イ)に関連して、以下のA～Dの文のうち、適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 惣村は、織豊期の検地に相当する地下検断を実施し、しばしば田畑の面積を過少申告した。
- B 惣村の有力者の中には、守護と主従関係を結んで地侍となるものも現れた。
- C 惣村を構成する村民は、乙名と呼ばれた。
- D 室町期には、租税の徴収を請け負う負名と呼ばれる有力農民が登場した。

問 9 下線部(ウ)に関連して、以下のA～Dの文のうち、適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 金肥の使用が一般化した。
- B 深耕用の備中鍬が導入された。
- C 水稻の品種改良が進んだ。
- D 二期作が各地に普及した。

問10 下線部(エ)に関連して、以下のA～Dの文のうち、適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 楮などから製造された和紙は、美濃や播磨の特産品であった。
- B 農業や手工業の発達により、3日おきに開く三斎市が一般化した。
- C 北陸での作付が盛んになった木綿が流通し、衣料などの日常生活に大きな影響を与えた。
- D 連雀商人と呼ばれる常設商店で野菜などを販売する商人が現れた。

文章C

日本の近代産業の発展は、農村の変化と関連している。幕末以来、生糸は最大の輸出品であり、製糸業は明治期に欧米向けの輸出産業として急速に発展した。^(ア)当初は座繰製糸が普及したが、ついで器械製糸の小工場が農村地帯にぞくぞくと生まれ、原料の繭を生産する養蚕農家も増加した。しかし工業に比べると農業の発展は緩慢で、小作へと転落する下層農民が増加した。第一次世界大戦前後には、小作料の減免を求めて小作争議が頻発し、年には各地の小作人組合の全国組織である日本農民組合が結成された。1930年代に入っても、農産物^(イ)価格の下落によって農家の困窮は続き、戦時下では、青壮年男子が軍隊に動員されたため、農業生産に必要な労働力が不足した。

太平洋戦争が終結すると、GHQは農民層の窮乏が日本の対外侵略の重要な動機となったとして農地改革の実施を求め、1950年までにほぼ完了した。これによって自作農が大量に創出されたが、農業経営の零細性という今日まで続く日本農業の問題点を生み出したともいえる。

問11 下線部(ア)に関連して、下の表1は、1899年における日本の輸出入の上位品目を示したものである。空欄に当てはまる農産品名を、マークシート裏面の該当する解答欄に、漢字2文字で楷書で正しく記入しなさい。

表1

	輸出品		輸入品
生糸	29.1%	A	28.2%
綿糸	13.3%	砂糖	7.9%
絹織物	8.1%	機械類	6.2%
石炭	7.2%	鉄類	5.4%
その他	42.3%	その他	52.3%
合計	100.0%	合計	100.0%

資料：「日本貿易精覧」。

問12 空欄①に当てはまる年として適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

A 1920

B 1921

C 1922

D 1923

問13 下線部(イ)に関連して、以下のA～Dの文のうち、適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 公共事業による雇用創出と、農業の効率的経営のモデル事業として、八郎潟の干拓と入植が実施された。
- B 植民地米の移入増加に国産米の増産が相まって、1920年代後半から米価は低迷していた。
- C 政府は農業協同組合法を制定して農民を結束させ、自力更生を図らせた。
- D 農業恐慌の中で、政府は時局匡救事業と称して米の定額買い上げを実施した。

問14 下線部(ウ)に関連して、以下のA～Dの文のうち、適切なものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A 農地改革がほぼ完了した時点での自作地割合は、80%以上であった。
- B 農地改革がほぼ完了した時点では、全農家の50%以上が経営耕地面積1反以下の零細農家になった。
- C 農地の買い上げと売り渡しにあたった農地委員会は、地主2，自作農3，小作農5の割合で選ばれた。
- D 北海道では、在村地主の貸付地のうち、2町歩を超える分は、強制的な買い上げの対象となった。